



「PTAを終えて」

本ホームページのトピックでも紹介していますが、10月26日に「第2回道川分教室PTA」を行いました。同日の午前中に行った学習発表会の映像をみんなで視聴した後、保護者の方々から感想等をいただきました。

「学校への入学を決めてよかった。成長の跡を感じ、嬉しく思う」

「学校での生活がなければ、どんなに寂しい日々だったろう・・・ということを想像する。学校に入れてよかったと思っている」

「自分の子どもが、病院内でこのように教育を受けられるとは思っていなかった。とても嬉しく思っている。」

本分教室生徒4名の内、3名（高等部3年生）は就学猶予・免除者です。その保護者の方の言葉でもあり、その背景にある思いが想像され、とても心に染み入りました。

時折、生徒達にとって学校はどんな存在であればよいのだろう、生徒達から私たち（教師）はどのような存在として写っているのだろう、などと考えることがあります。

確たる答えのない問いなのですが、保護者の言葉や思いに触れる時、生徒達がこれからも生き生きと学び、笑顔あふれる日々を送れるよう支え、共に笑顔で歩んでいきたい、そんなふうに思います。

これからも「いのち かがやく 道川」で在り続けたいな、そんな思いが湧いたPTAでした。ありがとうございました。



【学習発表会を終えて】